

通常総会議案

第1号議案

令和3年度事業報告書

自：令和3年4月1日

至：令和4年3月31日

I 会員の状況

(1) 会員の増減

(令和4年3月31日現在)

	R3.4.1 現在会員	令和3年度		令和3年度区分変更者		R4.3.31 現在会員	前年差
		入会者数	退会者数	増	減		
開業	340	15	11	8	8	344	+4
勤務等	196	22	14	8	8	204	+8
計	536	37	25	16	16	548	+12

(2) 支部別会員数

(令和4年3月31日現在)

支部	岡山	倉敷	津山	計
開業	214 (67)	109 (38)	21 (6)	344 (111)
勤務等	127 (56)	65 (28)	12 (3)	204 (87)
計	341 (123)	174 (66)	33 (9)	548 (198)
%	62.2	31.8	6.0	

() 内は、女性を再掲

(3) 開業年数別会員数

(令和4年3月31日現在)

年数	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上	計
人数	13 (3.8)	23 (6.7)	28 (8.1)	62 (18.0)	218 (63.4)	344(100.0)

() 内は、開業数に対する%

Ⅱ 令和3年度重点事業の実施状況

【連合会の方針に基づく事業】

1. 事業環境の急激な変化と新たな局面に対応した社会保険労務士業務の推進に関する事業

(1) 業務拡大に関する事業

〈企業主導型保育施設への労務監査事業〉

監査員21名により県内30保育施設の監査を実施した。(令和3年10月～11月)

2. 事業環境の変化に適合できる専門能力向上に関する事業

(1) 社会保険労務士の職業倫理・品位保持の徹底

前年度に引き続き、令和3年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、連合会eラーニングによる研修が実施された。(令和4年2月～3月)

(2) 研修に関する事業

(ア) 新規入会会員研修

・令和3年度新規入会会員研修

日時：令和4年1月15日(土) 10:00～16:30 サン・ピーチOKAYAMA

講師：会長、各部長、ADRセンター、SR経営労務センター、社労士成年後見センター岡山、東京海上日動火災保険(株)広域法人部 など

・新規入会会員研修(入会3年以内の会員対象)

3研修：「社会保険実務」「労働保険実務」「事務所開設と運営」

(イ) オンラインによる各種研修の実施

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、専門実務研修、安全管理研修、民法研修など多くの研修をオンライン方式で実施した。また、残念ながら電子申請フェアなど一部の研修は翌年度開催に延期することとなった。

3. 社会保険労務士の社会的使命の実現と社会貢献に関する事業

(1) 「社労士会労働紛争解決センター岡山」の運営

(ア) ADR研修

あっせん委員、運営委員、総合労働相談所相談員を対象に2回実施

第1回「同一労働同一賃金ガイドラインのポイントほか」(令和3年11月6日)

生涯学習センター 講師：弁護士 南 和成 氏

第2回「新型コロナウイルスに関連した労働トラブルについて」(令和4年2月26日)

生涯学習センター 講師：弁護士 妹尾 直人 氏

(イ) あっせん件数

区 分	受理件数	受理事件の取扱内容			
		和解成立	和解不調	申立取下	不応諾
令和3年度	1	0	1	0	0
開設以来累計	46	27	5	1	13
全国累計	1,262	479	160	58	532

(2) 学校向け出前授業の実施

中学校35回 高等学校2回 その他3回 計40回(内有料18回)

主な講座：「職場体験学習の前に知っておきたいこと」「働くときの基礎知識」

「働くことについて考えてみよう」「職場のマナー」

(3) 労働条件審査の実施とさらなる普及促進

入札に係る応札事業者の労働条件審査依頼があり審査を実施した。

倉敷市役所：玉島市民交流センター・阿賀崎公園・玉島武道館、倉敷市グラウンド・ゴルフ場、
国民宿舎良寛荘、下津井レストハウス 指定管理業務委託 5事業者

(4) 治療と職業生活の両立支援

がんなどの病気と闘いながら職業生活を送る方々の支援を行うため、病院との連携による相談会を開催した。岡山大学病院及び岡山医療センターでの出張相談：23件

4. 広報に関する事業

(1) 社労士月間 中小企業支援セミナー・個別相談会

テーマ：「法改正に対応するための実務総チェック」

～人事労務担当者が知っておくべき重要ポイント～

日時・場所：令和3年10月27日(水) 13:30～16:40 岡山商工会議所

講師：特定社会保険労務士 中西由美香先生

共催：一般社団法人岡山県商工会議所連合会

後援：県内報道各社

(2) 社労士月間無料相談会（令和3年10月30日、11月27日）計20件

年金相談（岡山支部） 天満屋ハピータウン原尾島店・岡南店（計21件）

年金労働相談（倉敷支部） ウイズアップくらしき、S-スタ（計3件）

5. その他

令和3年度中国・四国地域協議会社会保険労務士研修会（開催当番県）

日時等：令和4年3月18日(金) 14:00～17:00、19日(土) 9:30～15:30 オンライン開催

〈研修〉講師：全国社会保険労務士会連合会常任理事・同倫理委員会委員長・愛知県
社会保険労務士会会長 杉田 貴信先生

テーマ：コンプライアンスと不適切な情報発信

〈講演〉講師：株式会社メディン 代表経営コンサルタント 西村 聡先生

テーマ：職務とは何か？～職務分析・評価の前に知っておきたいこと～

【岡山県社会保険労務士会としての事業】

1. 電子化推進

電子化推進委員会において、新たに「電子化推進お助け隊」を発足させ、会員がe-Gov電子申請やGビズID電子申請を円滑に行えるようアドバイスを行うなど、会員の電子化推進を促進した。

2. 会議・事業・事務局業務の効率化

(1) 「新型コロナウイルス関係労働相談窓口」の設置・運営

総合労働相談所に「新型コロナウイルス関係労働相談窓口」を設置した。

開設期間：令和3年4月1日(木)～令和3年4月30日(金) 13:00～16:00

(2) 県内の自治体等からの要請による相談対応

①新型コロナウイルス感染症対応関係

岡山県（在籍型出向相談支援事業）、岡山市（企業社会保険・労務管理相談）からの要請により、窓口相談、事業所訪問相談などへ相談員をのべ39人派遣した。

②その他

倉敷市の要請により、倉敷市役所労働関係窓口相談へ相談員をのべ47人派遣した。

(3) webツールを活用した事務の効率化

メールフォームを活用した研修等への参加申込、web会議ツールを活用した会議や研修の開催など、会議・事業・事務局業務の効率化を推進した。

3. 他士業等との連携強化

(1) 10士業合同無料相談会

日時・会場：令和4年1月17日(月) 倉敷市役所

18日(火) 津山市役所

19日(水) 岡山市役所

各会場とも9:30~16:00 相談計3件

(2) 弁護士会との合同勉強会

日時・開催方式：令和4年2月16日(水) 16:00~18:00 オンライン開催

(3) 一般社団法人岡山県損害保険代理業協会との連携に関する覚書締結式及び記念講演

日時・会場：令和4年1月26日(水) 13:30~15:00 ピュアリティまきび

記念講演：『「職場環境改善宣言企業」宣言のポイントについて』 講師：神田 豪先生

なお、例年開催される「士業連携フォーラム」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止された。

Ⅲ. 各部事業実施報告

執行機関	重点事業	実施結果
<p>総務部</p>	<p>1. 県会事業運営</p>	<p>理事会・総会運営 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度同様、規模を縮小し、進行を簡略化して行なった。</p> <hr/> <p>中国四国地域協議会協力 令和4年3月18～19日、おかも未来ホールにて地域研修会開催を計画した。全国社会保険労務士会連合会常務理事・同倫理委員会委員長、愛知県社会保険労務士会会長杉田貴信氏による研修及び「職務とは何か」をテーマに西村 聡氏による講演。来場での受講は取りやめ、オンラインのみとし、148名が受講した。</p>
	<p>2. 規程の見直し</p>	<p>次の規程について、一部の見直しを行ない、令和3年7月17日の理事会にて承認を得、11月号会報に掲載した。 ・研修規程・名札着用規程・会務執行細則規程・旅費細則・議事録閲覧規程 ・会員処分にに関する調査委員規程</p>
	<p>3. 財務</p>	<p>予算管理の明確化 前年度に引き続き、予算の執行状況を各部門で把握してもらうようにした。また、会費徴収に関して、令和4年1月17日からゆうちょ銀行で「払込人が負担する料金」が加算されることにより、対応案の検討を重ねた。</p> <hr/> <p>財務状況の健全性 長期的なスタンスを踏まえ、財務の見極めを行って、財務の健全性の検討をした。</p>
	<p>4. 会報</p>	<p>定番の記事に加え、会員に各事業の報告や予定・方針が伝わるよう各部からの情報を取り入れた。</p>
	<p>5. 会員交流</p>	<p>新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、会員交流の計画・実施はされていない。</p>
<p>研 修 部</p>	<p>1. 一般会員研修の充実</p>	<p>年初より、予定していた集合研修が緊急事態宣言により急遽WEB研修に変更となった。 コロナ禍での研修も2年目となり、不測の場合に備えてWEB対応がスムーズになってきた。 テーマや内容にウィズコロナ・アフターコロナを意識したものが増えており、法改正や社会の変化に対応した研修を行った。 「ウィズコロナ時代の労務管理 実務編」(WEB研修) (8/26) 休業の場合の賃金の考え方やワクチン接種に関する注意点等、実務に即した具体的な内容について学んだ。 「採用から見る選ばれる職場づくり」(WEB研修) (9/25) 求職者から選ばれる事業所の事例から職場作りのポイントや採用支援の実務について学んだ。 「トラック運送業の労務管理」(WEB研修) (10/23) 運送業の労働時間管理、割増賃金の計算方法、賃金規程の改正を中心に、実務に役立つ内容を学んだ。 「社労士が知っておくべき消費税のインボイス制度」(集合研修) (11/17) 令和5年10月より導入される消費税のインボイス制度について学んだ。 「安全管理研修」(WEB研修) (1/20) 事務所衛生基準規則や脳・心臓疾患の労災認定基準の改正等、法改正を中心に業務に直結する内容を学んだ。 「労働保険年度更新研修」(WEB研修) (2/21) 労働保険年度更新の手続きについて、事例により申告書作成の注意点等を含めて学ぶことができた。また、労働保険事務組合の委託メリットや特別加入制度についても学んだ。 「民法研修」(WEB研修) (3/3) 成年後見を行う上で必要となる民法について学んだ。 「医療コンサル研修」(WEB研修) (3/12) 医療業界の労務管理に関し、Zoomミーティングのブレイクアウトを活用したグループワークを中心に事例課題に取り組んだ。 <p>なお、以下の2研修は新型コロナウイルス感染症まん延のため令和4年度実施に延期した。 「電子申請フェア」(会場+WEB開催) (4/20) ← 2/9から延期 「社労士のための顧客対応マナー・コミュニケーションスキル」(集合研修) (5/19) ← 2/3から延期</p> </p>

執行機関	重点事業	実施結果
研 修 部	2. 新規入会会員研修	<p>「労働保険実務研修」(WEB研修)(6/19) 「社会保険実務研修」(WEB研修)(6/19) 集合研修からWEB研修に急遽変更となったが、労働・社会保険を同日開催した。</p> <p>「事務所運営」(集合研修)(7/14) 安定した事務所運営を行うために、先輩社労士による事務所運営についての事例を学んだ。</p> <p>「新規会員研修」(集合研修)(1/15) 各部やPT等による県会組織に関連した研修は、感染対策を十分に行った上で開催したが、本年度も新年互例会については開催を見送った。</p>
	3. 自主研究会の活性化	自主研修会への助成金を1研究会に3万円支給した。
	4. 必須研修	本年度も連合会主催により、倫理研修を2月1日～3月31日の間にWEB研修の形で実施した。
事 業 部	1. 行政協力業務の推進	<p>年金事務所における年金相談窓口の委託契約に基づき、年金事務所と意志疎通を図りながら業務を実施した。</p> <p>年金事務所の相談窓口担当者に対して、継続研修を実施し、社労士会連合会の研修資料等も利用して、相談員としてより実践的な研修を行い、担当者の更なる能力の向上を図っていった。更に年金事務センター・各年金事務所の組織変更に対応できるよう窓口担当に入ってもらい新人社労士の要員の養成を11月から座学及びWM研修を計画実施した。また、出張相談についても、各年金事務所との連携をとりながら実施した。</p>
	2. 年金・労働相談業務の運営	<p>令和3年度の相談員体制は、年金相談員13名、労働相談員15名である。</p> <p>年金相談は、月2回の開催ながら街角の年金相談センターとも連携を行い相談会を実施した。また相談員の研修については、実践研修を中心に、事例研究、マナースタンダード、法律改正などの必須研修を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために事例研究が延期になった。</p> <p>労働相談は、県会にて毎水・金曜日に開催し、岡山・倉敷両市役所にて月1回(第4水・木曜日)、ゆうあいセンター岡山で月1回(第3日曜日)開催した。なお、令和2年3月6日から開設した「新型コロナウイルス関係労働相談窓口」を令和3年4月30日まで引き続き開設し、企業等からの相談に対応した。</p> <p>ADRセンター岡山との更なる連携体制をとりながら、実践的な研修を行った。</p> <p>また、年1回実施している必須研修についても担当者の希望に沿ったものになるようアンケート等で把握した。</p> <p>無料相談会を市政だよりや新聞紙面等の広報活動を通して、一般市民への利用を呼びかけていった。</p>
	3. 学校出前授業の実施	<p>県教育委員会や依頼校とも連携しながら出前授業を実施した。</p> <p>緊急事態宣言の発令による影響が大きく、前年度に比べて実施件数は2割ほど減少した。前年度に引き続き倉敷市労働政策課に予算を付けていただき、倉敷市・早鳥町の中学校26校のうち6校に出前授業を行った。わずかではあるが、高校からの依頼が増えた。</p> <p>運営面では、担当決めや情報共有のためにチャットワークの利用を開始した。講師各人の適性を活かしながら、魅力ある授業が行えるように、講師間の情報交換やプレゼンテーション、授業内容の検討を行いながら、更なるレベルアップを図った。</p>
	4. 治療と仕事の両立支援	<p>従来のがんチームが中心となって、岡山大学病院にて月2回の出張相談を充実させるだけでなく、岡山医療センターで試験的に月2回出張相談を行った。</p> <p>また、県下の13のがん診療連携拠点病院等の広報活動を実施した。岡山県保健福祉部医療推進課とも連携しながら事業主団体に対して年間5回程度の「がんと就労」「治療と仕事の両立支援」についての理解・広報活動をセミナー講師を中心に展開する予定だったが、コロナ禍により中止・延期に追い込まれた。</p>
	5. 労働条件審査・企業主導型保育施設監査員	<p>事業部は、倉敷市の指定管理者について労働条件の審査だけではなく、社労士個人及び岡山県社労士会の長期的展望を視野に入れ、倉敷市の社会福祉関係事業にも同様の労働条件審査の必要性を訴えていった。</p> <p>また、企業主導型保育施設労務監査は、20名の監査員を選任し、県内30施設で実施された。</p>

執行機関	重点事業	実施結果
広報部	1. 継続した広報活動の推進	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社労士制度を効果的に県民に周知するため、社労士会の取り組みを紹介する各種ポスター、チラシ等を活用して多方面へ広報活動を継続して行った。 2. 会員社労士の協賛を得て山陽新聞への広告を行い、社労士の活用促進及び社労士会の活動やイベント案内をして社労士の社会的地位の向上を図った。 3. 有効な各種媒体を通じて、社労士制度、社労士業務及びイベントのPRを行い、社労士の認知度アップを図った。
	2. 社労士業務PR事業の実施	<ol style="list-style-type: none"> 1. 岡山商工会議所連合会との共催により、ウェブ中継及び会場参加で「中小企業支援セミナー」を開催した。また、中小企業支援セミナーおよび県会の活動を県下の多数の団体経由で広く県民に周知した。 2. 無料年金・労働相談会を以下のとおり開催した。 岡山支部 10月30日 倉敷支部 11月27日
	3. 他士業等との連携強化	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和3年度は司法書士会が当番会として、士業連携フォーラム等他士業との交流が企画されたが新型コロナウイルス感染症予防のため中止とされた。次年度は土地家屋調査士会が当番会となる。 2. 10士業合同相談会を倉敷(1月17日)、津山(同18日)および岡山(19日)で開催した。 3. 弁護士会との合同勉強会を2月16日に開催した。 4. 一般社団法人岡山県損害保険代理業協会と連携の覚書を交わし、併せて社労士診断認証制度の研修を1月26日に行った。
	4. 県会ホームページの運用管理	県会ホームページの有効な運用に努めた。
統括プロジェクト	1. 各プロジェクトチームの統括	岡山県より在籍型出向相談支援事業を受託し、相談員7名で対応を行った。
	2. 各種入札事業への参加	令和3年度は社労士会が行うべき案件がなかったため活動はしていない。
	3. 新型コロナウイルス関係自治体支援	前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響等に対応する自治体からの支援要請に対し、事業部と連携しながら対応を図った。(岡山県、岡山市、倉敷市、県内商工団体等)